

子育てネットワーク部会通信

こころをつなぐ 第3号

第1回部会を開催

「飛騨市の子育てネットワークのさらなる充実に向けて」

講師：飛騨県事務所 家庭教育推進専門職



今年度の部会では、岐阜県飛騨県事務所 家庭教育推進専門職の水口悟さんを講師に迎え、「飛騨市の子育てネットワークのさらなる充実に向けて」と題し、ご講演いただきました。

講演は全3部構成で進められました。第1部では、県内や飛騨地域、市内の状況を踏まえながら家庭教育に関する情報について学びました。家庭教育では、「①褒め、認め、自己肯定感を高める

②数値では測れない姿を評価し、非認知能力を高める ③わが子の変化(成長)を自分の変化(成長)として捉えることによる「幸福感」の3点を大切にするのがポイントです。

第2部では、子育て四訓やリフレージングについてグループで確認し合い、子育てについて考えを深めました。子育て四訓とは、乳児期から青年期までの発達段階において親がどのくらいの距離

感で接することが望ましいかを示したもので、「手放すことの大切さ」を教えてくれています。また、リフレージングとは、言葉をポジティブなものに言い換えることによって、見方や考え方、感じ方が変わり自己肯定感を高めるものです。この2点を確認したのち、自分の子育てに関して見つめ直し、大切にしたいことを捉え直しました。

第3部では、規模を広げ、飛騨市の子どもや子育てに対しての願いを共有しました。飛騨市の子どもに対しては「ふるさとを愛し、大切にし、帰ってきてほしい」「様々な経験をし、心豊かに育ってほしい」などの意見が出ました。子育てに対しては、「子どもの行動に関心を持って、地域と一緒に子育てを」「子どもの見本となるように、大人も自分を大切に」などの意見がありました。



文部科学省では、「生きる力の基礎的な資質や能力を育成するものであり、すべての教育の出発点」と位置付けています。

また岐阜県では、平成26年12月に岐阜県家庭教育支援条例が施行され、保護者が子どもに教える育む内容として、9つの事項を掲げています。例えば、家族間での挨拶なども含まれます。

水口さんより、コメントをいただきました。

飛騨市のあたたかな子育てネットワーク 構成メンバーが代わる中、17年間も継続されているこの部会の存在が何より素晴らしい！部会の趣旨にある「子育てに頑張るママやパパ等をみんなで支える地域づくり」という願いを部員皆さんが共有しているからだと感じました。コロナ禍、2年ぶりに開催された今回の研修会。「久しぶりに会えて嬉しかった！」という感想通り、研修前から皆さんの会話が弾んでいました。県としての大きな課題は、一つ目に「孤育(こそだ)てさせないこと」、二つ目に「立場を超え、チームとして子育て・家庭教育支援を推進すること」だと私は捉えています。研修後、「飛騨市には独り悩んだりできないようなネットワークができています」と思います。これからもこのネットワークをフル活用して、悩む保護者の方が少しでも減っていくように頑張りたい」という感想がありました。部員皆さんの笑顔あふれるネットワークをフル活用し、飛騨市の子育てに奮闘しているママやパパたちを支え続けて欲しいと思います。

社会教育推進大会 in 白川村



令和4年11月8日、白川村南部地区文化会館において令和4年度飛騨地区社会教育推進大会が開催されました。

つながる大切さを感じる

コロナ禍三年目となる中で今年度。生涯学習推進会議・子育てネットワーク部会として県事務所家庭教育推進専門職の水口悟氏を迎えて講演会・グループワークを行いました。たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。大きな収穫でした。

この大会は飛騨地区の3市1村がそれぞれの社会教育活動を報告し合い、お互いの活動の充実を図ることを目的に開催されています。今年度は飛騨市が事例発表の当番であり、生涯学習推進会議の4部会から各部会長が事例発表を行いました。青少年健全育成部会では昨今深刻化しているスマホ等による犯罪についての勉強会、生涯スポーツ振興部会では令和8年度にスタート予定の地域部活動化に向けた取り組み、文化・芸術振興部会では新たに発足した文化協会の子ども組織についてなどを発表しました。そして当部会からは、溝口部会長が情報共有を目的として開催する部会や、通信の発行、図書館との連携企画について発表しました。

また、11月に行われた飛騨地区社会教育推進大会での活動発表を飛騨市が行うということもあり、リモートではなく久しぶりに現地参加をしてみました。やはり直接の参加は発表者たちの熱い思いやスタッフ一同の大会の運営・準備など伝わってくるものが違います。そして何より社会教育に対してこんなたくさんの方々が

飛騨市の事例発表ののち、岐阜大学客員教授の早川三根夫先生より『データと科学が証明する「ここまですわかつた地域の教育力」と題し講演がなされました。子どもの未来は遺伝と環境が大きな要因であり、家庭だけではなく地域の教育力がどれだけ大事であるかがわかる素晴らしい講演でした。

今回は実践発表という立場での参加でした。小学校であったと伺った南部地区文化会館は素敵な造りで、当時の子どもたちの声が聞こえてきそうでした。早川先生のご講演は大変興味深く、三児の母として聴かせていただきました。できていない事、できていきたくない子どもとの関わり方を勉強させていただくことができました。貴重な機会をどうもありがとうございました。

(溝口)

共に考え・行動し、実行しているんだという熱い思いが伝わってきました。私も直ぐに何かを：ということはできませんが、日々いろんな所にアンテナをはって社会の中から何かを見つけて、微力でも提案・発信できたらと思っています。

まずは、何事にも「参加」からかな？

(大坪)

☆私たちの取り組み紹介☆

【杉崎公園遊具のリニューアル】

飛騨市基盤整備部都市整備課 田嶋 久慎

市では、施設の老朽化が進む公園において、市民の方が安心・安全に利用できるよう計画的な整備を進めており、令和4年には「杉崎公園遊具広場」を再整備しました。

この広場は、平成12年から20年以上にわたり、たくさんの方に利用いただきましたが、木製遊具の老朽化により安全を確保することが難しくなり、遊具の更新を行いました。

特徴として、乳幼児および児童がそれぞれ安心して遊べるような年代にあった遊具を整備し、また、サポートの付いたブランコや、かがまなくても遊べる砂場などの「インクルーシブ遊具」も取り入れ、身体能力などを問わず、誰もが一緒に楽しく遊べる広場となっています。

今後も多くの方に長く親しまれる公園となるよう、計画的に整備を行っていきます。



【所在地】古川町杉崎 3641-1 他

【遊戯施設】乳幼児用遊具 5基
幼児用遊具 5基
児童用遊具 3基

【駐車場】舗装 21台
(内思いやり駐車場 2台)
未舗装約 70台